

保育の理念・実践を伝え合い、分かち合い、共有する。
「みんなでみんなをみていく」法人内会報。



2022.3

編集・発行/本部 広報・企画・編集室 中村聖子

『世界の内と外』

片山 喜章

毎日まいにち子どもにまみれて笑ったり、ムカついたり、共感したり、励まされたり、自分の保育の腕前に手応えを感じたり。そして時折、ふと、私って何をしてきたんだろうと隙間風が吹くことがあるかもしれません。

この仕事はふつうに保育しているとマンネリに陥りやすい。施設外に出ることが少なく、毎日、顔を合わせる子どもも大人もほぼ同じ“内なる世界”。けれども、その分、まるで職人のように個々の子の癖を熟知し、心の機微も分かり、家族並みの人間関係を築けます。そんな私たちにまもなく春の嵐が訪れます。新年度の到来です。気分も刷新され、新しいチームと自分を意識することでしょう。チームとしてどれほどアップデートできるか、その成果がマンネリ退治のコツです。

一方、外側の世界はどうでしょう。昨今、シリアにはじまり、アフガン、ミャンマー、そしてウクライナ。これが生きた現実。だから生き死にに関係のない悩み事で苦しまない、せめてそんな精神の持ち主でありたいものです。

@_tanenokai_ @tanenokai

Tanenokai Topics

園長主任合同研修会

1月22日、各施設の管理職が参加する研修会が行なわれました。今年のテーマは「マネジメントとスキルアップ」。オンラインでグループディスカッションを繰り返し行ないました。各人が深め、迷い、話し、種の会のこれからの「マネジメントとスキルアップ」を模索していきます。

メディア掲載情報

『ひろば』
2022年4月号特集
世田谷はっと保育園園長 衛藤先生のインタビュー記事掲載！



3/12 学会 シンポジウムに参加

「日本幼少児健康教育学会」第40回記念大会シンポジウムに、アルテ子どもと木幼稚園園長 山田先生が話題提供しました。

スタディサブリ進路にてインタビュー公開中！



はっとこども園 澤根先生が、スタディサブリ進路より取材を受けました。学生向けの記事です。『スタディサブリ進路』内『卒業後のキャリア』ページにて公開中です。

web 記事を
チェック！



社会福祉法人 HERO' S TOKYO2021

インタビュー記事を
チェック！



池田すみれこども園 谷口先生がプレゼンターとして登壇します。
3月15日 13:00~YouTubeにてオンライン生中継です。みんなで応援しましょう！！

introduction

原田児童館 稗田学童保育コーナー 稗田学童保育コーナー分室

1つずつ、施設をピックアップして紹介していきます。今回は原田児童館グループの3施設。原田児童館の午前中は子育て支援で親子プログラムを進めています。午後からは、3施設とも放課後児童クラブで小学生が遊び中心の生活を送っています。「今日は何をしようかな？これをしよう！」「今日は〇〇ちゃん来るかな？」いろいろな思いを持ってくる子どもたち。各施設の様子をご覧ください。

■ 地域の子育て拠点・原田児童館

「地域の子どもの遊び場・居場所」として、地域の子育て家庭や子どもたちが利用する原田児童館。PC教室や織物教室など地域のボランティア力を活かした企画が盛りだくさん。特に、地域の原田子育てコミュニティが関わり、青年会の力を得た児童館の山側にある「はらだファーム」の畑づくりは、子どもたちの生きる力を伸ばす役割を担っています。

▼はらだファームを耕す子どもたち。秋にはサツマイモの収穫祭も行なわれた。



◀ 珈琲店からいただいた麻袋にジャガイモ植え。



■ 稗田学童保育コーナー

稗田小学校の校庭の一角に立つ稗田学童保育コーナー。ワンフロアに約100名の子どもたちと職員が過ごします。その環境下でも一人ひとりがしたいことを保障できるように、時間を区切り、机配置を変えて工夫しています。園庭で遊ぶ子、静かに本を読む子、友達とアイデアを出し合って作品を作る子など様々です。



▲学童に帰ってきておやつを食べたら、静かに過ごす時間。「今日は赤い机（集中して宿題をする場）で宿題するわ～」と自ら選択して過ごす。



◀ 節分のおたのしみ会
▼ カブラ大会



■ 稗田学童保育コーナー分室

分室は、集合住宅の1階フロアにあり、約50名の子どもたちが利用しています。晴天時はすぐ近くの公園へ、雨天時は公園内にある自治会館も利用しています。季節の行事やカブラ大会などオリジナリティーあふれるイベントや、子どもたちが進める終わりの会が特長です。